無所属の会・市民の力

湖南市議会議員

# 赤祖父ゆみ

3月議会報告書

N0.67

2020年　4月

TEL／FAX　0748-77-5437

無断での複写・転用を禁じます。

♪ご意見お待ちしております。

［発行責任者：赤祖父ゆみ］

アドレス：pengin-fight.6.6.3.9@zeus.eonet.ne.jp

ホームページ：http://akasofu-yumi.net/

この報告書が皆様の手元に届く頃には、どうか新型コロナウィルスが終息に向かってほしいと祈る思いです。私の議員生活の中で、初めての経験でしたが、議会が途中で中断され、議会運営委員会が招集されて、今後の運営が変更になりました。滋賀県で感染者が確認されたことに伴い、執行部職員や議員が感染すれば、議会に出席できないことから、一般質問を後にまわして、予算を伴う議案から審議するよう変更となりました。一般会計当初予算・請願については、委員会付託して審議しましたが、感染防止策として狭い委員会室ではなく、議場で行われました。甲賀広域行政組合議会が開催された3月26日までは、それぞれが最善の注意を払い、なんとか最終議案まで審査することができ、今はホッとしています。危機的状況ですので、仕方のないことですが、やはり委員会に付託され、説明をしっかり聞いて審議を必要とした議案もあったと私は思います。改めて私たち議員に課せられた責任の大きさを実感したところです。

突如のウィルス感染で、国は大打撃。世界が心待ちにしていたオリンピック、パラリンピックも延期となりました。経済が冷え込み、生活困難者の拡大が予想されます。子どもたちの学校生活も奪われ、ストレスが溜まっていることと思います。湖南市では、希望者については学校で見守り、給食の提供もあり、大変ありがたいとの声をいただいています。扶助費が今後益々膨らんでいく中、地方創生事業を進め、ICT化が進んできます。幼稚園や保育園の民営化、総合体育館の指定管理者の変更など、時代に沿った舵取りが求められてきています。職員の退職者も大変多い年度となりました。議会事務局長も退職となることから、議会も今まで進めてきたことを次の方へバトンタッチしながら、市民の代表として、意見を吸い上げるしくみづくりが重要だと感じています。新庁舎建設では、少し時間をいただきながら、財政面も含め、国の情勢も鑑みて議論をしてまいります。西庁舎につきましても、引き続き意見を伺ってまいります。議会改革推進特別委員会では、来年度は常任委員会が主体となって、既存の団体との意見交換会を予定しています。7月には先進地視察として、岐阜県可児市での委員会代表質問を中心とした政策立案サイクルについて研修を予定しています。秋ごろには、高校生との懇談会も昨年に引き続き開催できればと思っています。

滋賀県議長会が主催した「広報・公聴活動についての研究会」での学習が活かされ、市民と一体となった取り組みが実現できるよう、諦めず、取り組み続けたいと思います。　赤祖父　ゆみ

議会審議

## 令和２年度　一般会計当初予算

208 億 6000 万円　対前年度（▲0.6%）

市税・・86 億 1000 万円（▲0.7%）

個人市民税は、国による雇用・所得環境の改善が進み 2500 万円の増。

法人税は、法の改正により、法人税割の税率が引き下げられたことにより、1 億 6000 万円の減

歳出

会計年度任用職員制度導入
4 億 7621 万 8000 円の増

臨時職員にかかる賃金
6 億 9899 万 7000 円の減

介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計への繰り出し金　6697 万 1000 円の増

基金

財政調整基金・・4 億円を取り崩し 13.6 億円

振興基金・・基金約 2.5 億円を地方創生関連事業の財源として活用

市債

市民 1 人あたり約 48 万円。臨時財政対策債を除くと約 27 万 5000 円。プライマリーバランスとしては、黒字。

地方創生推進関連事業

空き家サポートセンターあきやナクス運営委託
421 万円

十二坊トレイルラン運営補助金・・200 万円

スポーツ協会補助金・・・・・・・100 万円

移住就業支援補助金・・・・・・・100 万円

普通建設事業費

甲西中央橋修繕事業・・・・・　4 億 1500 万円
（R２予算　3 億 8600 万円）

石部駅周辺整備事業・・・・　24 億 2900 万円
（R２予算　4 億 7500 万円）

小・中学校トイレ洋式化改修工事・・8800 万円
（R２予算　1100 万円）

三雲東小・菩提寺小・日枝中のトイレ改修

甲西図書館改善改修事業・・・・・・6100 万円

## 民間幼稚園への給食提供条例について

幼稚園の再編に伴い、学校給食センターで調理する給食を民間の幼稚園等にも提供することを可能にするための条例改正が提案されました。

議会ホームページのインターネット議会中継でもご覧いただけますが、本会議場での質疑の中で、現在の給食センターの受け入れ食数は 5800 食が限度であり、来年度公立園から民間園に移行する 6 つの園の内、５つの園が希望され、ほぼ一杯の状況である。湖南市内には、他にも民間園があり、他の民間園が希望しても受け入れられない状況がわかりました。希望アンケートは取ってないということで、以前からの経緯を鑑み、湖南市内の民間園で不平等があってはならないことが大きな理由として、反対をしました。

7 号議案は、反対多数で否決されました。

しかし、子どもたちには何の罪もなく、4 月からの給食が提供していただけるように、給食提供が盛り込まれた令和２年度一般会計当初予算議案には賛成をしました。議場では議員間討議が行われ、予算常任委員会すべての議員が、4 月からの子どもたちの給食には影響のないようにと訴えました。賛成討論もしました。

市長の先決処分により、民間園について給食が提供できるようになり、本当に良かったです。

## 受動喫煙の防止に関する条例

健康増進法の一部改正法律が令和２年４月１日から本格施行されることを受けて、市民の健康寿命の延伸を目指して、受動喫煙を生じさせない環境の整備に必要な条例です。

概要

１、特定施設における喫煙の禁止

市は、禁煙施設と分煙施設を区分し、分煙施設では、喫煙場所を設けなくてはならない。

禁煙施設：学校関係、保健増進施設、文化体育施設

分煙施設：庁舎、まちづくりセンター、観光施設等

２、特定野外喫煙場所・指定喫煙場所の設置措置

喫煙場所については、人が通常立ち入らない場所に設置し、標識を掲示します。

３、未成年者の受動喫煙防止

について定めています。

施行が 7 月 1 日ですので、3 か月かけて特定施設等の啓発、加熱式たばこも同様に健康害する学習会の開催、たばこを止められない人への支援策について質疑しました。

総務常任委員会審査

## 70 歳以上の高齢者にバスの無料化へ！

以前から、懸案事項であった、高齢者に対する移動手段の確保は喫緊の課題でした。総務委員会の事業評価からの主な提言では、乗降客の少ない路線の見直しと、デマンド交通整備についての要望であり、それを受けて市からの事業提案がありました。

１、コミュニティタクシーの導入について

妙感寺ルート、美松台ルート、医療センター線の 3 路線を廃止して、予約制のコミュニティタクシーを導入

２、75 歳以上の高齢者対象に、無料回数券を交付

時期はできるだけ早い段階で実行したいとのことでしたが、今回全員賛成で採択されたコミュニティバス無料化に関する請願では、高齢者の運転事故防止策や介護予防策、元気に生きがいを持つ施策として重要であり、70 歳以上を対象とした請願が採択されました。引き続き議論してまいります。

## 甲賀広域行政組合議会報告（3 月 26 日）

令和２年度当初予算額は総額 35 億 8311 万 8000 円

質疑では、会計年度任用職員について質疑し、予定していないとのことでした。また、衛生費では、循環型社会形成推進計画の変更の 50 万 8000 円予算について質疑しました。後日詳細資料を頂きます。

令和２年から５年までの計画で、稼働後 26 年経過したごみ処理施設で、基幹的整備改良工事約 45 億円の事業が始まります。国の循環型社会形成推進交付金を活用して行います。

一般質問では、消防力整備基本計画について行い、高機能消防デジタル無線整備完了に伴う出動形態の見直し、外国人の対応やウィルス対策について盛り込んでいく。消防団、自主防災組織との連携は重要。顔の見える啓発が重要と意見しました。

## 二酸化炭素（$CO_2$）の排出量実質ゼロに向けた取り組みについて！

問　世界は今、地球温暖化が進み、大雨や異常気象を生み、大きな地球問題として深刻化しています。温室効果ガス $CO_2$ 削減に向けて滋賀県でも取り組みを進めると宣言がありました。湖南市の取り組みは。

答　湖南市は現在、湖南市地域自然エネルギー地域活性化戦略プランの改定を進める中で、湖南市の地域新電力事業である「こなんウルトラパワー」を核として、供給される電力の $CO_2$ 排出係数を 2050 年にはゼロにする目標にしています。

問　市民、企業を巻き込むムーブメントの取り組みについて

答　現在の計画では、エネルギーと経済の循環を図り、脱炭素に向けた取り組みとして、行政、企業、金融機関、大学、市民で構成する、（仮称）地域循環共生圏連携協議会を設立し、それぞれの知見を活かしながら、SDGs に配慮した取り組みを進めていきます。COOL CHOICE の取り組みも、県と連携して進めていきます。

問　子供たちも一緒になって取り組む環境事業について

答　小学校でのイモ発電事業や、間伐材を活用した「親子エコものづくり講座」等小中学生が自然エネルギーや地球温暖化に関心が持ち、参画してもらえるよう取り組みを進めていきます。

問　太陽光発電（10kw 未満）の一般家庭の固定価格買取制度（FIT）終了後の利活用施策について

答　こなんウルトラパワーによる「電気料金プラン」を策定し、家庭や店舗、小規模事業者の皆さんに PR をし、認知度を高めていきます。

問　木質バイオマス資源の利活用と今後の取り組みは。

答　福祉作業所等が参画する林福連携の実証に取り組んでいます。地域資源を活用した域内循環事業に取り組んでいきます。

問　公共施設の脱炭素を考えた維持管理の展望は。

答　省エネ事業、ESCO 事業の一環として、市内 10 校の小中学校の体育館の照明の LED 化してきました。湖南市発の地域エネルギーを享受することで、環境に貢献し、市に経済的なメリットになることを市民に理解を求めながら、ムーブメントとなるよう、普及・啓発を進めていきます。

問　脱プラスチックの取り組みについて

答　第二次湖南市環境基本計画の中で示しながら、脱プラスチックの取り組みやごみ減量化に努めていきます。

## 行きたくなる図書館構想について！

問　湖南市「読書の魅力」種まきプラン第 2 次計画の成果と課題は。

答　図書館での貸し出し冊数、利用人数は減少しています。移動図書館車「マツゾウくん」での PR、職員の技術の向上など、図書館利用促進に向けた工夫が必要と考えます。

問　どのような図書館をつくりたいのか。グランドデザインについて

答　あらゆる年代の人々が気軽に利用できる施設、生涯にわたり自ら学び、豊かな人間性を育む生涯学習の中核施設を目指しています。

問　本を読みに行くだけでなく、中高生が様々な用途で利用できる図書館づくりについて

答　学習が困難な子どもたちの学習する場所として、らくらく勉強会や調べ方講習会など、相談する専門職員を持つ施設の強みを生かした事業に取り組みます。

問　外国籍住民に対する図書の推進について

答　図書館に入りやすいような多様な言語で図書館表示が必要だと考えています。

## 外国籍住民の災害対策について！

問　湖南市の災害多言語支援センター設置についての考えと、今後、甲賀市との連携は。

答　一つの市だけでは様々な言語に対応することは困難であることから、近隣市、県とも連携して取り組むことも必要かと考えます。

問　国際協会のマンパワーが不足しています。企業との連携は商工観光労政課。人権擁護課や危機管理防災課の横の連携が重要と考えます。マンパワー、ファシリテーターを増やす施策についての見解は。

答　現在協議を進めているところです。県内大学生への参加を呼び掛けたり、国際協会主催の講座やイベントを通じてボランティア参加を呼び掛けていきたい。

# 研修報告と議員活動

## 湖南市・甲賀市議会合同研修会

1月15日　甲賀市庁舎

「本会議、委員会における動議、付帯決議、議員間討議について」

具体的な議員間討議を活発に行い、委員長代表質問に繋げる事で、議会が活発になる。委員会からの議案提出提案権が認められ、常任委員会は委員長に決定権がある。

## 地域における男女共同参画

1月29日石部まちづくりセンター

NPO法人シミンズシーズ　代表理事　柏木登起氏

豊富な経験から貴重なエッセンスをいただく。若い女性も、知らない土地から来た人も、意見が言いやすい雰囲気をつくる事。新しい意見を取り入れる土壌作りが大切。楽しい自治会でないと人は集まらない。

## 防災研修石部南学区まちづくり協議会

2月10日陸上自衛隊今津駐屯地

大雪に見舞われました。日頃お世話になっている自衛隊員による防災研修

・72時間以内の食料備蓄
・常備薬の多めの常備
・顔を合わす関係づくり
・被災地には泥棒がでる
・自衛隊員は2人で行動

など貴重なお話を聞き、体験することが出来ました。

## 石部西地域人権学習会

2月22日石部まちづくりセンター

性暴力被害総合ケアワンストップSATOKO(サトコ)

滋賀県産婦人科医会会長

SATOKO 拠点病院　南草津野村病院　野村哲哉氏

性暴力で悩んでいる女性が増えていることに驚きました。24時間ホットライン077-525-8103への相談が後を絶ちません。

1月12日　湖南市消防出初式

1月18日　研修会女性と政治

1月23日　滋賀県議長会議員研修

2月1日　甲賀病院がん治療研修会

2月2日　湖南市駅伝

2月3日　もみじあざみ鳥獣対策視察

2月9日　青少年指導支援の会活動

2月11日　酒蔵ウォーク竹内酒造

2月15日　人権教育研究会

2月21日　教職員組合と教育長懇談

2月23日　甲西吹奏楽団50周年

2月27日　東近江図書館視察

## 災害時の外国人支援研修

2月22日　滋賀県、甲賀市とそれぞれの国際協会6団体が合同で災害多言語支援センター設置訓練と防災訓練が開催されました。企業との連携も重要です。災害が必ず起きるその日までに、できる準備をしておかなくてはならないと思います。

**1月**

13日　こなんアンサンブルフェスティバル
16日　地域活性化戦略プラン検討委員会傍聴
17日　災害ボランティア運営委員会
18日　地域まちづくりフォーラム
21日　庁舎整備特別委員会
23日　「手話言語」研修会
24日　自分らしく生きるための読書会
26日　携帯電話についての研修会
28日　早春コンサート運営委員会

**2月**

4日　会派会議
5日　甲賀広域行政組合議会説明会
6日　行政視察（筑西市）
7日　議会改革推進特別委員会
8日　湖南市美術展
11日　石部宿寄席
14日　宝来坂防災士会例会
18日　議会運営委員会
20日　広報委員会
21日　学校合同研修会
23日　ママさんバレーボール交流強化試合
25日～24日　3月議会定例会

**3月**

19日　議会改革推進特別委員会
26日　甲賀広域行政組合議会